



警察事務

未来を
つむぐ。
Spin the future.

宮城県職員募集2023

警察事務の業務紹介

◆ 概要

総務・経理等の事務全般、運転免許に関する事務、指紋鑑定等の警察行政事務

◆ 勤務先

警察本部、警察署、運転免許センター、機動センター、警察学校 等

自己紹介

- ◆ 出身：山形県
- ◆ 最終学歴：県内大学卒業
- ◆ H30.4 拝命

拝命後の異動歴（現在入庁6年目）

H30.4～	警察署 刑事第一課 犯罪統計、庶務業務など
R2.4～	警察署 会計課 遺失拾得業務、支出業務、物品管理など
R5.4～	警察本部 警務課 採用関係業務など

なぜ公務員？

- 誰かの役に立てる仕事に就きたいと思った。

なぜ宮城県警察？

- 学生時代を過ごした地で働きたいと思った。
- “警察活動をサポートする”という仕事に魅力を感じた。

これまでに担当した業務の紹介

犯罪統計業務

- 犯罪の認知・検挙をデータ化
- 犯罪情勢の分析・資料作成

遺失拾得業務

- 遺失届の受理
- 拾得物の受理、返還
- 遺失者への連絡

支出業務

- 消耗品等の購入
- 光熱水費等の支払い

仕事をする上で心がけていること

- 疑問・悩みはそのままにしない。
同僚や上司に相談。今後に活かす材料に。
- 仕事はチームプレー。
仕事はチームで行うもの。困ったときこそ協力。
- その道のプロを目指して。
業務上求められる知識は常にアップデート。

印象に残っている業務

- 遺失拾得業務の際にいただいた、感謝の言葉。
落とし物を返還したとき、「ありがとう」とお声がけいただいたこと。
- 刑事第一課での勤務。
犯罪統計業務などを通し、事件捜査を行う警察官の近くでそのサポートに従事できたこと。

- “誰か”の役に立つことができる。
県民の。警察官の。
- 自らの成長を感じられる場面がある。
異動に伴い、未経験の業務に挑戦することも。
昇任によって仕事の幅にも変化が。

- 行政職でありながら、治安の維持に貢献できること。
- “警察組織”という、他の企業や官公庁とは違う環境で働けること。

先輩職員からのメッセージ

警察職員の業務は多岐にわたり、活躍の場は多くあります。

“警察組織”で働くことは、警察ならではの仕事など、他の公務員と違った魅力があります。

皆さんのお申込みをお待ちしております！